

ネパール国
西部地域公衆衛生対策プロジェクト
アフターケア調査報告書

平成 2 年 11 月

国際協力事業団



医 業
J R
90-46

ネパール国
西部地域公衆衛生対策プロジェクト
アフターケア調査報告書

JICA LIBRARY



1090880(4)

22415

平成2年11月

国際協力事業団

国際協力事業団

22415

序 文

ネパール国西部地域公衆衛生対策プロジェクトは、1973年10月から1985年2月まで、12年余りにわたって実施され、おおむね所期の成果をおさめて終了した。本プロジェクトの成果の一部は、1987年から開始された、国家レベルでの結核対策推進を目指す「ネパール国結核対策プロジェクト」に受け継がれている。

国際協力事業団は、本プロジェクト終了後の活動状況を把握し、必要なアフターケアの措置につき調査するため、1990年2月、久留米大学医学部教授近藤重信氏を団長とするアフターケア調査団を派遣した。本報告書はその調査の結果をまとめたものである。

ここに、調査団員各位及び調査団派遣に際しご協力を賜わった方々に感謝申し上げます。

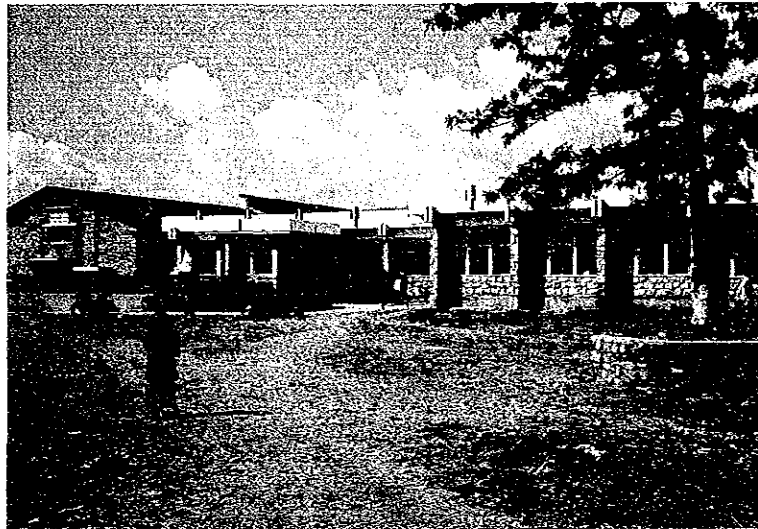
平成2年11月

国際協力事業団

医療協力部長 曾 我 絃 一



ミニッツの署名：近藤団長、バツライ局長



西部地域病院（旧ガンダキ病院）



西部地域公衆衛生研究所細菌検査室内

目 次

1. アフターケア調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	3
2. 総括報告	4
3. プロジェクトの現況	5
3-1 西部地域公衆衛生研究所	5
3-2 西部地域病院X線室	7
4. アフターケア協力	9
4-1 専門家の派遣	9
4-2 機材の供与	9
4-3 協力の期間	9

1. アフターケア調査団の派遣

1-1 調査団派遣の経緯と目的

ネパール国西部地域公衆衛生対策プロジェクトにおいては、1973年から12年に渡り、ネパール国の西部地域における保健・医療サービス向上のため、①西部地域衛生研究所における臨床検査機能の拡充、②ガンダキ病院（現西部地域病院）における放射線撮影技術の向上、③上記2つの施設とヘルスポストを活用しながらの結核対策のモデル作りにつき、協力してきた。

プロジェクト終了後は、1987年からの国家レベルでの結核対策推進を目指す「ネパール国結核対策プロジェクト」にその成果が受け継がれている。しかしながら、「結核対策プロジェクト」の活動は、国家レベルの結核対策充実を目標としているため、上記①②の活動については直接に支援するものではなく、また、西部地域のみ偏した投入をすることも困難である。

このようなことから、協力終了後4年を経過した現時点で、本プロジェクトに係るアフターケアの協力を行うことが必要と判断され、具体的な協力内容を調査するため、本調査団の派遣となったものである。

調査団の任務は以下のとおり。

- (1) プロジェクト現状の把握
 - *進捗状況全般の調査
 - *供与機材活用状況の調査
 - *問題点・課題の把握
- (2) アフターケア協力の内容についての調査・協議
 - *専門家派遣が必要な分野の特定
 - *修理、供与の必要な機材のリストアップ
- (3) アフターケア協力についてミニッツの交換・

1-2 調査団の構成

団長	近藤重信（総括・臨床検査）	久留米大学医学部教授（中央臨床検査部長）
団員	中野英雄（放射線）	久留米大学病院中央放射線部副技師長
〃	雲見昌弘（協力計画）	国際協力事業団医療協力部医療協力特別業務室長

1-3 調査日程

月 日	曜	調 査 行 程
2/21	(水)	雲見団員カトマンズ着 JICA 事務所打合せ
22	(木)	近藤団長、中野団員カトマンズ着 保健省表敬訪問、ミニッツ（案）の提示 日本国大使館表敬訪問
23	(金)	トリバン大学医学部訪問 医学教育プロジェクト笹川専門家（機材保守）等との打合せ
24	(土)	空路ポカラに移動 西部地域衛生研究所視察
25	(日)	西部地域衛生研究所、西部地域病院視察 保健大臣主催夕食会
26	(月)	西部地域衛生研究所、西部地域病院にて、機材のチェックおよびカウンターパートとの打合せ
27	(火)	西部地域衛生研究所、西部地域病院にて打合せ 空路カトマンズに移動
28	(水)	JICA 事務所にて報告 保健大臣との意見交換 保健省にてミニッツ署名 NTC 視察および結核対策プロジェクト専門家チームと意見交換
3/1	(木)	JICA 事務所に報告 近藤団長、雲見団員バンコクへ出発
2	(金)	中野団員イスラマバードに専門家としての用務のため出発

1-4 主要面談者（ネパール側のみ）

保健省	保健大臣	Mrs. Sushila Thapa
	次官補	Dr. D. N. Regmi
	人材養成研修局長	Dr. Shyam Prasad Bhattarai
	中央衛生研究所所長	Dr. V. L. Gurubacharya
	中央衛生研究所次長	Dr. Ram Ratan Upadhyaya
	西部地域衛生研究所所長代理	Dr. K. B. Karmacharya
	西部地域病院医長	Dr. Ram Bachadur Singh
	NTC所長	Dr. N. G. Amatya
	西部地域医務局長	Dr. B. L. Shrestha
	西部地域衛生研究所技師	Mr. Boj Bahadur Sunuwar
	RTCスーパーバイザー	Mr. Janak Bdr Karki

2. 総括報告

1973年10月～1985年2月に亘り行われた上記プロジェクトも終了後早くも5年間が経過した。アフターケア調査団としての最大の関心事は供与された建物、機器及び移転された技術がいかに保持されているかであった。

調査で目立った事は西部地域衛生研究所（WRHL）の建物に老朽化による雨漏りが発生していること並びに西部地域病院に供与されているレントゲン撮影装置の1台が老朽化しているため病院機能の一部影響が見られていたことの2点であった。今回面会した保健省大臣を初とするネパール側上層要人もこの2点については深い関心を寄せていることが窺い知れた。

上記2点を除けば、プロジェクト終了時の機能を当時供与されていた機材を使用しながら、確実に保持し続けていた。殊に、プロジェクト期間中に育った技術者がこれらの保持に大きな力になっていることは感激であった。

次に本プロジェクトの一部が引継がれたと考えられる「結核対策プロジェクト」が開始されており、調査団の訪問と時期を同じくして開所式典が行われた地域結核センター（Pokhara）の機能とWRHLの機能との関連性に留意する必要性が生じた。日本協力チームの意見などから、結核センターの機能が確立するまでにはなお相当の時間を要するものと考えられ、今後最小限5ケ年はWRHLの現有機能保持が可能になる手当をする必要があるとの結論に達した。

これらの趣旨とともに、今後数年間現状を維持するためにはどのようなものの整備が必要かの現場の技術者の意見を参考にして調査団の見解を示した。

これらの現状と対策についての見解について保健省大臣並びに要人の同意をえたので、覚書に署名し業務を終了した。

3. プロジェクトの現況

3-1 西部地域衛生研究所

1985年2月をもって終了した当時と比較すると、周囲の状況もまた変化が見られた。隣接する西部地域病院は200床に増床され、病院内にあった検査室はなくなり、病院の全ての検査はこの研究所内で行われるようになっていた。

その活動を昨年度の検査件数で示すと次の表のようである。

西部地域衛生研究所の検査件数 (1988 July ~ 1989 June)

血液学検査	31,536	組織病理検査	中央衛生研究所へ
糞便顕微鏡検査	4,054	梅毒検査	434
生科学検査	3,669(1,212)	妊娠反応検査(尿)	335
尿検査	2,962	脳脊髄液検査	223
精液検査	92	喀痰検査(抗酸菌)	
細菌学検査		顕微鏡検査	2,938(3,557)
臨床検体	1,962(460)	培養検査	?(1,023)
水	?	薬剤耐性検査	122(166)

()内 1983 June ~ 1984 June

上掲の表のように、検査の主なるものは血液検査であった。これについては1体3~5項目検査依頼があったとしても、1日平均20~30検体程度を処理しているものと考えられる。外の検査、糞便顕微鏡検査、生化学検査、尿検査並びに抗酸菌(結核菌)顕微鏡検査は平均毎日10数件を処理しているものと考えられる。結核検査室でも、培地が作成され、着実に結核菌が培養されていた。

現場の技師の話では結核プロジェクトから依頼された薬剤耐性検査とのことである。一般細菌学検査も限られた範囲ではあるが、件数はむしろ増加していた。

内容を正確に比較するのは不可能であるが、1983~1984年の1年間と比べると現在2~3倍の検体数増加が見られる。この件数増加はガンダキ地域病院の拡充・整備が大きく影響しているものと考えられる。

しかしこれらの検査のための経費を如何に補填しているかについては、不幸にして研究所の所長(Dr.G.M.Bajrachary)が休みで代理の所長であったため聴取することが出来なかった。しかしプロジェクト終了前に供与された機材・器具も、なおかなり活用されていることが窺えた。それらの証拠として、ガラス器具は立派に洗浄され、破損も少なく使用されていた。既にかかなりの傷みが見られるものがあったがノック式ピペットもグリースを塗布して良く保守されていた。生科学検査では古い分光光度計は(Hitachi 100-10)が依然として活躍していた。もう1台の同じ型の分光光度計は不調であったが、日本より携行した配線基板とさし換えたところ、復旧できたようである。

一方、乾熱滅菌器、オートクレーブ、ふ卵器などは稼動していた。

なお、研究所建物に、雨漏りが発生している。これは、老朽化などによるものと思われる。この修理については、ネパール側の予算では対応できないため、我が国に対し、無償資金協力フォローアップ事業による対応を要請したいとのことである。

[参考]

西部地域衛生研究所の人員配置

機 構	定員数	実員数
Director	1	1
Doctor	1	0
Medical Technician	1	1
Lab. Technician	5	4
Administration	5	5
Electrician	1	1
Lab. Boy	3	2
Driver	1	1
Peon	6	6
合 計	24	21

3-2 西部地域病院X線室

(1) X線室スタッフ及び技術等について

1985年2月のプロジェクト終了時より、X線室スタッフは1名減員され、現在5名で運営されている。

1984年12月この西部地域病院(WRH)は200床に増床され、X線室での撮影件数が増加しているにもかかわらず、定員は1名減員となりかなり多忙を極めているようである。

1978年5月～1983年12月 月平均患者数 600～700名

1984年 " " 860名

1990年2月現在 40～50名/日 1000～1200名/月

Pokharaの人口増加に伴いX線室での患者数も年毎に増加しているようである。プロジェクト期間中に比べ、Radiographerの技術低下は認められず、十分診断価値を持ったX線写真が得られており、Radiographerの日頃の努力を窺い知ることができる。

プロジェクト期間中の専門家による適切な技術指導に加えて、6ヶ月間の国内研修が大いに役立っているものと思われる。

撮影項目はプロジェクト終了時(最終エバリュエーション調査報告書42P.表6)に比べ大差は認められない。但し、後述するように、現在X線透視装置が老朽化しており、胃腸造影等の消化器疾患の検査は行なわれていない。

(2) X線装置の状況

1984年2月に設置されたX線装置(東芝製 LG-1 150KV 500mA)は順調に稼動している。

プロジェクト開始後間もなく、1977年12月設置した透視及び一般撮影が可能なX線装置(島津製 SM-125L 125KV 1.5μF)が老朽化していた。

今回のアフターケア調査に際し、事前にこの件に関する情報を得たので島津製作所メンテナンス専門家と応急修理対策について検討し、現地にて修理を試みた。しかし、故障の原因は高圧変圧器内の絶縁破壊により、変圧器内で高電圧がショートする異常音を発しており、感電等の危険性もあり現地での対処は不可能であった。

現地よりこの件に関して島津製作所専門家に問い合わせたところ、故障中と同機種X線装置の製造は国内ですでに中止されており、修理部品の調達は不可能であり、又中古部品の入手も困難とのことであった。

1977年12月設置以来約13年間、ネパール西部地域医療に大いに貢献してきたこのX線装置もすでに老朽化し、修理困難な状況にあり、西部地域において消化器疾患に悩む多くの患者のためにもこのX線装置を早急に更新し、適切な診療が行なえるような手当が必要と思われる。

(3) その他X線関連機材について

a. X線散乱線除去具のStationary Gridが長期使用により破損が目立ち、撮影に支障を来しているようである。

b. カセットに装着している増感紙(Intensifying Screen…X線をフィルムに感光させるための発光体)が同様に長期使用及び経年劣化により発光能力が低下し画質の鮮鋭度が落ちている。国内の施設では3～4年毎にこれを更新し画質低下を防止しているが、ネパールではIntensifying

Screenの入手が困難なこともあり、プロジェクト終了後更新しておらず、Radiographerの技術を生かし、さらに画質の向上を計るためにこれを更新する必要があると思われる。

c. ポータブルX線装置について

1984年12月病院が200床に増床したことにより、病室での撮影及び手術室での術中撮影の頻度も多くなっている。プロジェクト初期に供与された組立式ポータブル装置は脚部の破損等により、病室及び手術室での撮影は危険を伴いこの装置を用いて撮影は行なわれていない。現在は1984年12月増床時に吸収されたMission Hospitalで使用していた小容量のポータブル装置で代用しているが、これも満足な機能を果たしていないようである。

d. その他関連機材は順調に稼動しており特に問題はない。

(4) Western Reginal Hospital X線室の今後の予想

WRHの所在地Pokharaの人口も年々増加の傾向にあり、1984年12月200床へ増床後病院はGandaki Zonal HospitalよりWestern Reginal Hospitalへ昇格し、病院の機能も最終エバリュエーション当時（1984年12月）よりかなり充実しているようである。それに伴いX線室の業務も撮影件数の増加、検査項目も多様化してくると思われる。又プロジェクト期間中に育ったRadiographer Mr.Bhimnhat PokrelもWRHにしっかりと根をおろして技術の維持向上に努力しているので、WRHのこれからの発展に対しても十分対応できるものと思われる。又それを期待したいものである。

4. アフターケア協力

調査団は、調査の結果およびネパール側との協議を踏まえ、西部地域衛生研究所と西部地域病院に対するアフターケア協力の実施を、それぞれの政府に勧告する旨、ミニッツにまとめた。ミニッツについての説明を以下に記す。

4-1 専門家の派遣

1) 機材修理保守、2) X線機器据え付け（機材供与関連）、3) 微生物学（検査技師）、4) 生化学（検査技師）、5) X線技術の5分野についての派遣につき、ミニッツに記した。

専門家派遣の実施については、正式要請書（A1フォーム）の接到後に個別に検討することになる。

4-2 機材の供与

X線機器、臨床検査機器それぞれにつき、新規機材、スペアパーツを含め、ミニッツのANNEXのとおり、合意した。

4-3 協力の期間

日本の平成2会計年度（2010年4月1日～2011年3月31日）内に限定された協力であることを明記した。

署名したミニッツ

THE MINUTES OF DISCUSSIONS BETWEEN
THE JAPANESE AFTERCARE COOPERATION SURVEY TEAM AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF HIS MAJESTY'S GOVERNMENT OF NEPAL
ON THE AFTERCARE COOPERATION FOR
THE BASIC HEALTH SERVICES PROJECT IN WESTERN REGION

The Japanese Aftercare Cooperation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Dr. Shigenobu Kondou, Professor, Kurume University, School of Medicine and the Nepalese Authorities concerned exchanged views and had a series of discussions for the purpose of working out the details of the aftercare cooperation programme concerning the Basic Health Services Project in Western Region (hereinafter referred to as "the Project") in Kathmandu and Pokhara from 22nd of February, 1990 to 1st of March, 1990.

As a result of discussions, the Team and the Nepalese authorities concerned agreed upon the measures necessary for more effective implementation of the Project and agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Kathmandu, February 28, 1990

Shigenobu Kondou

Dr. Shigenobu Kondou
Leader,
Japanese Aftercare Cooperation
Survey Team,
JICA

Bhattarai

Dr. Shayam Prasad Bhattarai
Chief,
Man Power Development &
Training Division
Ministry of Health
HMG/Nepal

ATTACHED DOCUMENT

1. Dispatch of Japanese Experts

- 1) Japanese experts in the fields of maintenance and repair of equipment, Installation of Xray Machine (Engineer), Microbiology, Biochemistry, and Xray, will be dispatched upon the request (Form A1) from the Nepalese authorities concerned.
- 2) Dispatch of the Japanese experts is subject to change within the Japanese budgetary limit.


2. Provision of Equipment

- 1) Equipment listed in Annex will be provided upon the request (Form A4) from the Nepalese authorities concerned, within the limit of the budgetary allocation of the Japanese Government according to the priority.
- 2) Such request shall arrive at JICA by the end of May 1990.
- 3) Cost of custom clearlance, internal transportation, installation, maintenance and so on should be borne by His Majesty's Government of Nepal.

3. Term of Aftercare Cooperation Programme

The above mentioned aftercare cooperation programme will be carried out within the Japanese fiscal year of 1990

(from April 1, 1990 to March 31, 1991)

8/2 

ANNEX

1. Western Regional Hospital

X-ray Machine (With Fluoroscopy)	: 1 Set
Mobile X-ray Unit	: 1 Set
Intensifying Screen	: 50 Pcs.
Cassette (12" x 15")	: 5 Pcs.
Stationary X-ray Grid	: 10 Pcs

2. Western Regional Health Laboratory

Autoclave	: 1 Set
Incubator for Microbiology	: 2 Sets
Pipetter	: 10 Sets
Reflectometer (for Serum Protein)	: 2 Sets
Reflectometer (for Urine S.G.)	: 2 Sets
Bilirubinometer	: 1 Set
Photocopy	: 1 Set

87
-

S.K.

専 門 家 派 遣 お よ び 機 材 供 与 要 請 書 コ ピ ー

このコピーは、要請書のドラフトであり、ネパール政府部内の手続きを経て、正式に要請される見込である。

<p>4. Terms and conditions of appointment (Cont'd.)</p> <p>(d) daily and nightly rates of subsistence payable when away from base on duty</p> <p>(e) are costs of internal travel paid or car provided?</p> <p>(f) what leave arrangements are suggested?</p> <p>(g) extent to which free hospital and medical treatment is to be provided for the expert and his accompanying dependents, if any</p> <p>(h) is expert free from income tax?</p> <p>(i) will personal effects imported on first arrival be cleared free of custom duty?</p> <p>(j) does host government undertake to indemnify expert in respect of damages awarded against him for actions performed in the course of his official duties?</p> <p>(k) approximate date on which the expert is required to arrive in receiving country</p> <p>(l) any other information</p>	<p>According to the rules and regulation of HMG of Nepal</p> <p>Yes</p> <p>Yes</p> <p>Yes</p>
<p>5. Proposals for apportionment of costs of salary and allowance and passages</p>	
<p>6. Previous steps, if any, to fill the post:</p> <p>If any previous attempt has been made to fill the post under the Colombo Plan (including ICA) or from any external source (UN, Specialised Agency or other) please indicate:</p> <p>(a) to whom application was addressed, with date</p> <p>(b) result or present stage of negotiations</p> <p>(c) are other experts working in this area in associated projects or have there been reports by these experts working in this field previously? If so, are any available?</p>	
<p>7. Correspondence: Name, postal and telegraphic address of official to whom correspondence regarding this application should be forwarded</p>	<p>Dr. V.L. GURUWACHARYA, Chief, CHL, Ministry of Health, HMG of Nepal (For Western Regional Health Lab. and Western Regional Hospital)</p>

Signed

Shattari

on behalf of the Government of

NEPAL

Chief
Man Power Development & Training Division

Date: February 28, 1990

For use of Donor Government

Application accepted/rejected/withdrawn

on behalf of the Department of

Date:

ANNEX

Short-term Experts:

For
WRHL

Duration: Approximately: One Month

1. Installation of X-ray Machine (Engineer) - 1 (One)
2. Microbiology (Technologist (s)) - 1 (One)
3. Biochemistry (Technologist (s)) - 1 (One)
4. X-ray (Technologist (s)) - 1 (One)
5. Expert Engineer for repairing the following equipment - 1 (One)

Autoclave (HL-36) (S-90N)

Incubator (IF-4)

Coagulator (C-200)

Densitometer (Densitorom 20M)

Centrifugal Separator (KS-4000, Kubota)

Refrigerator (R-336H)

X-ray Machine (Bhairahawa Hospital)



THE COLOMBO PLAN
COUNCIL FOR TECHNICAL CO-OPERATION IN SOUTH AND SOUTH-EAST ASIA
Equipment for Training or Research Institutes and for Equipment accompanying Experts

APPLICATION

By the Government of HMG of Nepal
from the Government of Japan
(Country)

Notes.—(a) This Form has been devised for the general guidance of co-operating countries in order to facilitate the supply of relevant information and data necessary to afford an adequate appreciation of the nature of the technical cooperation required. The careful completion of this application form will avoid much reference back and lead to speedier action. Separate forms A. 4 should be used for requests for equipment for each individual institute or project.
(b) The requisite number of copies of the Form A. 4, including a copy for the Colombo Plan Bureau, duly endorsed by the appropriate Foreign Aid Department of the requesting government should be forwarded to the donor government concerned through the appropriate channels.

<p>1. Background Information</p> <p>Please describe as concisely as possible the general outlines of the project for which the equipment is required, indicating whether the latter is (a) for use by an expert in the performance of his duties (b) for a training scheme of institution or (c) for a research institution. If either (b) or (c) please say whether the equipment is for the establishment of a new institution or the expansion or re-organisation of an existing one (e.g., by the provision of a new department, &c.). The name and exact location of the institution, its approximate cost and the authority responsible for it should be stated. Where appropriate details should be given of the availability of any services required for the operation of the equipment. This would include operation by electricity (i.e. type of current, periodicity, voltage and any variations, phases, frequency etc. and if D.C. is the only current available please give full details), water reticulation or steam gas etc. Details of similar equipment already in use should be given.</p>	<p>The Basic Health Services Project in Western Region supported by JICA terminated in 1985 and, since then, the Project has been run and administered by ourselves. Though, the Project has gained a considerable results so far, it is a fact that the Project is facing serious problems because of troubles of some donated equipment. To cope with these pending issues, Aftercare Survey Team was sent by JICA, from 21 February 1990 to 1st of March 1990 and the Ministry of Health agreed to initiate the Aftercare cooperation in accordance with the Minutes of Discussions attached herewith.</p>
<p>2. Description of equipment required.</p> <p>Please give a full description of each item and general specifications where possible. The manufacturer and estimated cost of each item if known together with details of the proposed end use of item should be given. Where applicable, give details of any special packing or tropic proofing required and indicate whether handbooks or instruction data supplied in English will suffice. If appropriate, please indicate any required priorities or phasing of deliveries and advise whether adequate facilities exist for maintenance and servicing of the type of equipment requested. (If lengthy, detailed lists should be annexed: it would be convenient to have separate annexures for (a) films, (b) books and (c) other equipment.)</p>	<p>See the Minutes of Discussions</p>
<p>3. Has this equipment request already been directed to any other Agency of Colombo Plan country and if so to whom was it addressed with what result?</p>	<p>NO</p>
<p>4. Has the list of equipment already been discussed with representatives of the supplying country/ies? If so, please indicate what stage the discussions have reached</p>	<p>Yes</p>
<p>5. Furnish full particulars in respect of— (a) Consignee; (b) Official to receive documents and enquiries; and (c) Clearing agent at port of entry.</p>	<p>Western Regional Hospital and Western Regional Health Laboratory</p>

(2)

<p>6. Where equipment is required for use by an expert Please indicate—</p> <p>(a) The country or agency from which the expert has been requested or obtained.</p> <p>(b) His duties and length of secondment (a reference to the relative Form A. 1 will suffice when the expert is being provided by the country to whom the equipment request is addressed).</p> <p>(c) What use is proposed for the equipment when the expert's period of secondment terminates?</p> <p>(d) By what date is the equipment required?</p>	See attached Minutes of Discussions
<p>7. Where equipment is required for Training or Research Institutions Please indicate—</p> <p>(a) Nature and standard of training or research to be undertaken</p> <p>(b) Total number of students to be accommodated from within the country or from elsewhere in the Region, the qualifications for admission, the duration of courses, and the annual output of trainees</p> <p>(c) Whether there is already a similar institute(s) in existence in the country. If so, please give details</p> <p>(d) Whether buildings are already available. If not has construction started and when is it expected to be completed?</p> <p>(e) Whether qualified staff to handle the equipment has been recruited or is proposed to be recruited locally. If not is it proposed:—</p> <p>(i) to recruit foreigners under aid-programmes?</p> <p>(ii) to train locally recruited personnel abroad in handling equipment? (the reference numbers of any Forms A. 1 or A. 2 relating to such requests should be quoted)</p> <p>(f) Taking into account the answers to (d) and (e) above, what is the date by which the equipment is required and the date on which training or research work is to commence.</p> <p>(g) Whether any assistance in drawing up the Scheme has been obtained from outside experts? (Any specialist reports or Government surveys (e.g., Educational Committee Reports, etc.), bearing on the request should be provided if possible)</p>	See attached Minutes of Discussions
<p>8. Correspondence Name, Postal and Telegraphic Address of official to whom correspondence regarding this proposal is to be forwarded.</p>	Dr. V.L. GURUWACHARYA, Chief, CHL, Ministry of Health, HMG of Nepal (For WRHL and Western Regional Hospital)



Date: February 2, 1990

For use only by your Government

Proposal accepted/rejected/withdrawn

Date:

Signed

on behalf of the Government of

Shatara
NEPAL
Chief
Man Power Development &
Training Division

on behalf of the Department of

ANNEX

1. Western Regional Hospital

X-ray Machine (With Fluoroscopy)	: 1 Set
Mobile X-ray Unit	: 1 Set
Intensifying Screen	: 50 Pcs.
Cassette (12" x 15")	: 5 Pcs.
Stationary X-ray Grid	: 10 Pcs

2. Western Regional Health Laboratory

Autoclave	: 1 Set
Incubator for Microbiology	: 2 Sets
Pipetter	: 10 Sets
Reflectometer (for Serum Protein)	: 2 Sets
Reflectometer (for Urine S.G.)	: 2 Sets
Bilirubinometer	: 1 Set
Photocopy	: 1 Set



JICA